

平成29年度 山形県生涯学習推進委員会報告

1 平成29年度 山形県生涯学習推進委員会の実施状況

(1) 平成29年5月19日(水)13:00～15:00 県庁1201会議室

(2) 参加部局:委員会を構成する37課・室等中31が出席

<構成部局>

学事文書課、企画調整課、県民文化スポーツ課、市町村課、環境企画課、危機管理課、くらし安心課、食品安全衛生課、子育て支援課、若者支援・男女共同参画課、地域福祉推進課、健康長寿推進課、産業政策課、雇用対策課、イノベーション・国際交流推進課、農政企画課、農業経営・担い手支援室、6次産業推進課、管理課、会計局会計課、村山総合支庁総務課、最上総合支庁総務課、置賜総合支庁総務課連携支援室、庄内総合支庁総務課、義務教育課、義務教育課特別支援教育室、高校教育課、スポーツ保健課、県立図書館、県立博物館、村山教育事務所社会教育課、最上教育事務所社会教育課、置賜教育事務所社会教育課、庄内教育事務所社会教育課、県生涯学習センター、文化財・生涯学習課、生涯学習振興室

(3) 協議事項

① 第4次山形県生涯学習振興計画について

② 平成29年度生涯学習に係る事業計画について

(※ 2ページ以降の議事録、資料4-2(進行管理表 H30.1月末)を参照)

2 平成29年度の成果と課題

(1) 成果

① 県HPのトップ画面にある、「いち押し」欄を活用した事業情報の提供

夏休み期間中に各課で開催する小中高生向けの生涯学事業について、県HPのそれぞれの課のページに掲載されている事業情報を、子どもたちが閲覧しやすいように、県HPのトップ画面にある「いち押し」欄を活用し、一括して紹介した。今年度各課から情報提供があった掲載事業数は201件で昨年度の2倍になり、各課の連携に向けた意識が高まっている傾向にあること、また多くのアクセスがあることから、子どもや保護者の関心の高さも窺えた。

② 各課で行っている生涯学習に関する事業の課・室間での効果的な連携

- ・ 放課後子ども総合プラン指導者研修会において、各部局が行っている「出前講座」の情報を指導者に提供し、放課後子ども教室などとの連携を図った。
- ・ 健康長寿推進課の「高齢者生きがいづくり生活支援活動人材育成事業」において、高齢者に対する担い手研修をプロポーザル方式で県生涯学習センターに委託することにより、連携実施した。
- ・ 地域福祉課と生涯学習振興室が、地域の青少年ボランティアと成年ボランティアとの間の情報交換を行い、連携を図った。
- ・ 市町村の福祉課と連携しながら、高齢者や障がい者等のスポーツ環境づくりを支援した。

(2) 課題

課・室間での情報共有や連携が見られるようになってきており、今後は事業ベースでの連携・協働の形をとった取組みにつなげていきたい。

今年度新たに文部科学省から示された「障がい者の生涯学習支援」を推進するにあたって、来年度は、この会議に加わっていなかった障がい福祉課の参加を得て連携を図ることによって、効果的な支援につなげていきたい。

今年度の進行管理表から、各部局が事業において連携・協働を必要とする課等を積極的に示してもらい、各課・室相互の意識を高めていくようにしているが、会議の中でも課・室間の連携・協働に向けた具体的な提案を行っていく。

平成29年度 生涯学習推進委員会議事録

日時 平成29年 5月19日(水) 13:00～

場所 県庁1201会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 第4次山形県生涯学習振興計画について

概要版により説明

(2) 平成29年度生涯学習に係る事業計画について

各委員から、事業連携の視点で事業の説明をいただきました。

◇生涯学習振興室

昨年に引き続き、「いち押し」欄を活用した生涯学習事業の広報に取り組む予定。各課と連携して、春から秋に実施する小中高生向けの体験教室をまとめて広報する予定。各課で予定している事業等があれば教えていただきたい。

各課で実施している「出前講座」と県・市町村教育委員会で普及を図っている「放課後子ども教室」を連携して、お互いに効率よく、より充実した事業を実施したい。小学生を対象とした出前講座の情報をいただきたい。

◇学事文書課

大学コンソーシアムに対する情報発信の補助、米沢栄養大学や東北公益文科大学で講座開設等の連携をしている。

◇企画調整課

委員会の内容を県の施策へ反映させたい。

◇環境企画課

環境科学研究センターや環境アドバイザー等の派遣を通じて、環境教育の連携をしていきたい。平成29年度に環境教育行動計画を見直し、木育教育の内容充実、環境学習プログラム（環境映像、教材）の作成をする予定。教育庁の皆様やこの委員会の皆様に協力いただきたい。

◇危機管理課

(資料P5に記載の研修事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

◇くらし安心課

(資料P5に記載の研修事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

◇食品安全課

平成29年度から、学校で動物愛護の出前事業を実施する。

◇子育て支援課

(資料P1、P3に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

平成29年度の主な事業4つ。①孫育て交流サロン創設支援事業。②男性の育児参加に向けた意識啓発事業（「やまがたイクメン応援サイト」による情報発信、「やまがた企業イクボス同盟」の普及拡大）。③情報誌やHPによる子育て支援情報提供。④三世同居等の理解を促進する活動、自然・文化等の多様な体験を提供する事業、乳幼児と児童生徒のふれあい体験事業を実施する市町村に対して、市町村総合交付金の交付。

◇若者活躍・男女共同参画課

(資料P4に記載の事業について説明あり。)

若者によるラジオ番組を流す予定なので、活動的な若者をお知らせいただきたい。チェリアで人材育成研修等を開催する。参加者としても協力いただきたい。

◇産業政策課

(資料 P3、8、9 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

科学技術に対する理解醸成、人材育成を図るため、子どもバスツアーやサイエンスインストラクターの派遣事業を実施している。創業のための研修やサポートを実施している。

◇雇用対策課

オール山形若者定着推進会議でキャリア教育、就職支援を展開している。産業技術短期大学校に土木エンジニアリング科を開設した。今年度から補助金がなくなるため、教育庁とはますます連携して進めていきたい。

◇インバウンド・国際交流推進課

JET プログラム等により国際理解、国際教育を実施している。

◇県民文化スポーツ課

(資料 P4、5、6、7 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

◇農業経営・担い手支援課

(資料 P9 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

◇6次産業推進課

(資料 P7、9 に記載の事業について説明あり。)

学校からの要請により、子どもたちに対する農作物収穫や郷土料理の体験を通じた世代間交流を支援している。

◇山形県生涯学習センター

学習情報の提供について連携していきたい。健康長寿推進課から委託を受け、高齢者生きがいづくりや生活支援活動人材育成事業を実施している。人材育成が大きな柱。社会教育についていろいろなノウハウを持っているので、照会いただきたい。

平成 28 年に、ユーチューブでふるさと塾アーカイブスを閲覧できるようにした。海外からのアクセスがあった。平成 29 年度は外国語表記する予定。ぜひご覧いただきたい。

遊学館や洗心庵等をぜひ活用していただきたい。

◇庄内教育事務所

庄内に生涯学習振興団体はない。5市町からなる協議会(学校支援部会、社会教育部会)があり、生涯学習は社会教育部会の中で年1回研修会を開催している。

平成 29 年度は、追加で教育プラットフォームに関する研修を実施する予定。

◇置賜教育事務所

8市町が連携して、社会教育振興会を組織して、単独市町では実施困難な研修会等を実施している。

◇最上教育事務所

生涯学習推進大会(全県大会)を開催する。8市町村の首帳部局との連携を図っており、毎年研修時に持ち回りで講演をいただいている。今年度は鮭川村長。

◇村山教育事務所

村山地区社会教育推進協議会を立ち上げ、山形県生涯学習支援センターの助成を活用し、研修会を実施している。

◇県立博物館

(資料 P14 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

南東北インターハイの期間中、入館料無料で開館する予定。

◇青年の家

中学生・高校生のボランティア活動について、地域の方と一緒に活動する機会、各部局のイベント等に参加する機会づくりの連携をしていきたい。

◇県立図書館

(資料 P14、15 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

南東北インターハイの期間中、企画展を行う。

◇スポーツ保健課

総合型地域スポーツクラブは 33 市町村に 59 クラブ 21000 名の会員。健康長寿推進課と高齢者介護予防プログラム、市町村課と町づくり、生涯学習推進室と放課後子ども教室の連携をしている。

◇高校教育課

東北で初めて、コミュニティースクールの指定をした。⇒小国高校
高校生の横への広がり、地域づくりに期待。

平成 30 年度に 6 校に探究科、探究コースを開設する。地域課題の解決等の探究学習をしていきたいと考えているので、協力いただきたい。

◇特別支援教育室

(資料 P1、2、3 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

◇義務教育課

(資料 P1、2、3 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

いのち・学び・地域という 3 つの視点から事業を展開している。

◇教育庁総務課

(資料 P6 に記載の事業について説明あり。)

郷土愛の醸成を目的に、中高校生による探究コンテストを開催している。地域創生、6 次産業化等にもつながるものなので、協力いただきたい。

◇置賜総合支庁総務課連携支援室

(資料 P5、11 に記載の事業について説明あり。連携視点からの発言はない。)

◇最上総合支庁総務課

平成 28 年度に、最上でアクティブに活躍する女性をまとめた。平成 29 年度は、教育事務所と連携して、生徒がこの女性達の話を書く機会を設ける予定。あわせて、若い世代につなげる取組みを実施する。

金山町と連携して、「森の案内人」育成事業を展開する。

◇村山総合市町総務課

高校生を対象に、乳幼児とのふれあい体験教室を開催する。

◇管理課

小学生を対象に工事現場見学を開催する。

(3) 意見交換

◇環境企画課

環境行動計画を見直し、木育について盛り込みたい。関係課の方にご協力いただきながら、検討部会等を設けて進めさせていただきたい。

環境学習に結び付けられるプログラム(教材等)を作っていきたい。教育庁、子ども教室や学童の関係者からアイデアをいただきながら進めたいので、ご協力いただきたい。

◇教育庁総務課

〇〇教育が増えていく、今ある〇〇教育に工夫を加えながら、学校に負担をかけないように一緒に検討していった方がいい。

◇青年の家

若者活躍・男女共同参画課のラジオ番組について、青年の家や生涯学習推進室でも青年の活動を支援している。頑張っている青年等を紹介させていただく。

◇若者活躍・男女共同参画課

意欲のある若者をぜひ推薦してほしい。ジャンルとかの設定はない。

◇新野次長

山形方式の青少年ボランティアは全国に誇れるもの。年々人数が減ってきている。ラジオ番組を活用して、教育庁から積極的に情報発信していただきたい。

◇義務・高校教育課

進路指導等で雇用対策課さんをはじめ関係課の方にご協力いただきたい。

◇山形県生涯学習センター

高齢者活躍の場を検討するに当たり、何かあればご相談いただきたい。

◇高校教育課

探究型を進めるに当たり、地域課題をリサーチして提案まで持っていく高校もある。進めるうえで協力いただきたい。

◇青年の家

青少年のボランティア活動を推進していくうえで協力いただきたい。

4 その他

(1) 今後のスケジュールについて

12月末に今年度事業の実施状況と来年度の対応方針を紹介させていただき、来年4月に変更点を再度照会させていただいた上で、県のホームページに掲載する予定です。

(2) 第5次生涯学習振興計画について

H18に改正された教育基本法の第3条により生涯学習の理念が定められた。生涯学習で得た成果を適切に生かすことのできる社会の実現を図らなければならない。その実現のため生涯学習振興計画の策定が必要。H4に県の総務部生涯学習学事課で策定。現在第4次計画の5年が経過しようとしている。第5次計画策定の流れは、生涯学習推進室で原案を作り、生涯学習関係課からなる策定委員会で決定し、生涯学習振興会議でご意見をいただく。パブコメを経て、3月に策定予定。策定に当たってご協力いただきたい。

5 閉会